



大阪府立豊中高等学校能勢分校

チームSATOYAMA

E-bikeプロジェクト ～めざせ！ZEROカーボンスクール～

テーマは「E-bikeプロジェクトによりZEROカーボンスクールをめざす」。E-bike(電動アシスト自転車)で、能勢町のような交通不便地における交通問題と環境問題を考えるプロジェクトです。また、ゼロカーボンを考え、学校にリユースのソーラーパネルを設置しました。



大阪府立長尾高等学校

理科学研究部 マイクロスケール実験開発チーム

マイクロスケール実験の開発

マイクロスケール実験は教科書の実験よりも使う薬品量などが少なく、廃液等も減らせる。本実験を開発できれば、4人の班で実施していた実験が2人の班や個人で可能になる。これらの成果は、実験開発が生徒の能力と未来への可能性をひろげてくれる。



大阪府立みどり清朋高等学校

地域貢献部

地域から世界へアドプト・リバー・プログラム

地域の川で清掃・生態調査を行い、大阪府が行う「アドプト・リバー・プログラム」に高校として参加しています。私たちの活動を通じて地域住民が地域の自然(川)を大事にするきっかけをつくるために、今後は情報発信の機会を増やしていきたいです。



大阪府立富田林高等学校

水質班

河川自然浄化と水流との関係について

現在私たちが戻した水が流れる一部の河川では水が濁るなど水質が悪化しています。私たちは河川を本来のきれいな姿に取り戻したいと思い、河川の「自然浄化」という現象に着目して、自然浄化には何が関係しているのかを明らかにする活動を行っています。



兵庫県立豊岡総合高等学校

インターアクトクラブ

海とわたしたち

被災地支援、地域交流、米・野菜・花づくり、外国人との交流など様々な活動をしています。海岸漂着物回収活動は特に力を入れています。回収された海岸漂着物の中で漁業の網をカバンの材料、漂着ブイをプランターなどにアップサイクルをしています。



兵庫県立伊川谷高等学校

ボランティア部

人形劇で伝えるSDGs ～地域の子もたちとともに考える未来～

子どもたちに人形劇でSDGsを伝える活動を行っています。最初の作品はフードロスがテーマ。次の作品はイカナゴの漁獲削減の記事を参考に海の生態系を浦島太郎風にとまとめました。ゲームやクイズを交えて近隣の学童、児童館、図書館などで公演しています。



兵庫県立篠山東雲高等学校

自然科学部

篠山城堀の生物調査

篠山城の堀には外来生物が多く生息し生物多様性が失われています。私たちは外来生物の駆除活動を行ってきました。3年間でウシガエルやブルーギル、アメリカザリガニを多く駆除し、当初あまり見られなかった在来種のモツゴが見られるようになりました。



兵庫県立播磨農業高等学校

オオヤマジソ班

オオヤマジソの持続可能な保全に向けた商品開発

オオヤマジソという希少な植物の保護活動に取り組んでいます。ただ保護するだけでなく活用方法も検討。清潔感のある香りを持つ日本原産のハーブであるため、企業に持ち込み、オオヤマジソのハンドクリーム、化粧水、美容液を製造することができました。



親和女子高等学校

探究15班

プロジェクトC ～私達に出来ること～

私達はコンポストが社会に浸透して生ゴミの減量に繋がることを望んでいます。コンポストを利用する事は、買い物からエコについて考える機会にもなります。第一歩として、ダンボールコンポストを複数の方法で試し、楽しさ、意義を伝えようと思います。



親和女子高等学校

MASK

環境に良いマスク

私たちは環境に良いマスクを作っています。これについて考えようと思ったきっかけは、道に落ちてしまっても環境に悪くないマスクを作ろうと思ったからです。水に溶けるものでマスクを作れないかと思い、和紙や半紙などでマスクを作ってみようと思いました。



高校生エシカル推進委員会

気候変動×楽しさ ～私たちが行動する意味～

気候変動の影響を一番受けるのは私たちの世代なので、私たちが中心となりイベントの企画や小中学校への講演会活動、ブース出展などを考え行動しています。また、環境漫才や環境ラップ、環境ソング、コスプレなど楽しさや面白さを加えた啓発を行っています。



奈良育英高等学校

生徒会・ユネスコ委員会

環境問題は深いい ぱーと2

ウニの養殖と、自分たちで実際に育てるコットン栽培の活動をしています。また、ボルネオ島の森林伐採について考える活動にも取り組んでいます。アブラヤシのプランテーションの影響で住処を失っている動植物の現状を現地の方と交流して調査をしています。

